

地下壕

でつながる

沖縄戦



連合艦隊司令部地下壕作戦室（慶應義塾大学日吉キャンパス内）

2025.

3.8

土

入場無料

14:00~16:00
(開場 13:30)

※席数に限りがありますので、ご入場いただけない場合があります。予めご了承ください。

講師 安藤 広道氏

(慶應義塾大学 文学部 教授)

会場 沖縄県立博物館・美術館
3階 講堂

受付 当日先着 (定員 200名、無料)

お問合せ 098-941-8200

〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1



【講師】安藤 広道(あんどう ひろみち) 慶應義塾大学 文学部 教授

横浜市歴史博物館学芸員、東京国立博物館研究員を経て、2004年に慶應義塾大学文学部に着任。2012年より現職。専門は、考古学と博物館学。近年はアジア太平洋戦争期の戦争遺跡をめぐる公共考古学的活動を行っている。

沖縄戦の舞台は、沖縄本島一帯だけではありませんでした。沖縄に向けた特攻作戦も沖縄戦の一部だったのです。特攻作戦は、沖縄方面根拠地隊司令部と第32軍司令部から伝えられる沖縄の情報に基づき、神奈川県連合艦隊司令部と鹿児島県第五航空艦隊司令部を中心に展開されました。これらの司令部の地下壕は電信で相互につながっていたのです。ここでは別々に語られがちな地上作戦と特攻作戦を地下壕でつなぐことで、沖縄戦の語りの拡張を試みます。



第五航空艦隊司令部地下壕電信室 (情報局 1945『写真週報』第371号より)

あなたの沖縄に出会う

